

令和 8 年度県内避難者アンケート調査の結果について【概要】

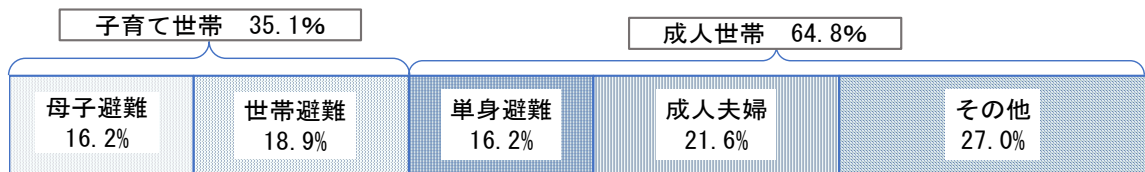
1 調査の概要

- (1) 目的：東日本大震災から 15 年半が経過し、秋田県内に避難している方々の避難生活が長期化していることや、避難をとりまく環境が大きく変化していることから、このアンケート調査を通して、避難者の現状とニーズを把握し、今後の支援施策の参考とする。
- なお、アンケート調査は平成 24 年から実施しており、今回が 15 回目である。
- (2) 調査対象：東日本大震災により福島県から秋田県内に避難されている 96 世帯
- (3) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (4) 調査期間：令和 8 年 6 月～8 月
- (5) 回収率：38.5% (37 世帯)

2 調査結果のポイント

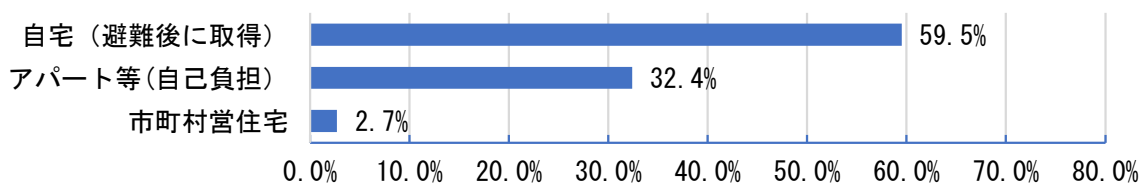
(1) 避難世帯の状況について

成人世帯が 6 割を超える。



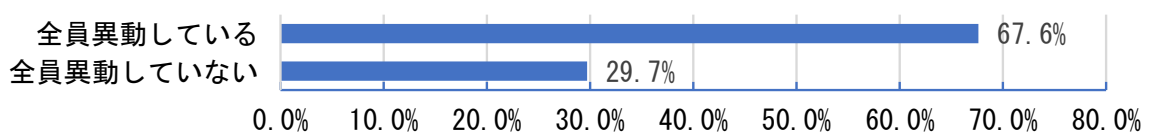
(2) 現在の住居について

現在の住居形態の上位は、「自宅(避難後に取得)」や「アパート等(自己負担)」。



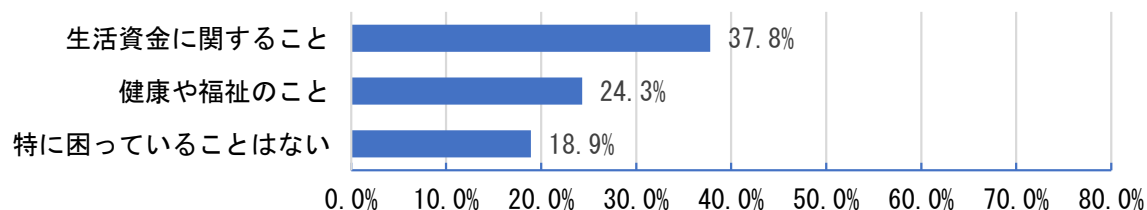
(3) 住民票の異動状況について

約 7 割の世帯が、家族全員の住民票を異動。



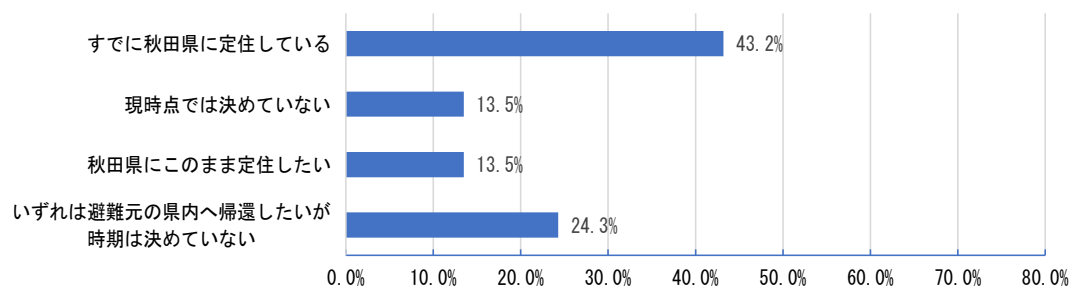
(4) 困っていること、不安なことについて（複数回答可）

困りごとと不安なことの上位は、「生活資金」、「健康や福祉」に関すること。



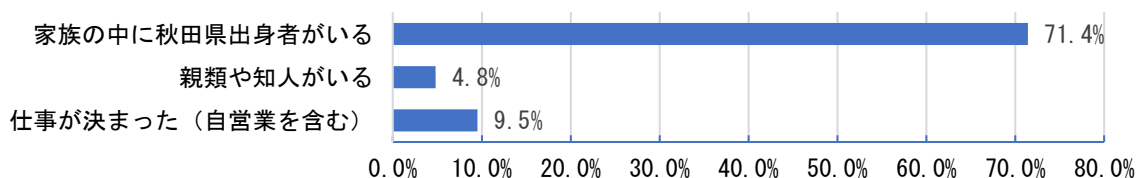
(5) 今後の予定について

半数を超える世帯が、「秋田県に定住している」、「定住したい」と回答。



(6) 秋田県への定住を決めた理由について

定住を決めた理由の上位は、「家族の中に秋田県出身者がいること」や「仕事が決まった」など。



(7) 必要な支援について（複数回答可）

必要とする支援の上位は、「避難生活に対する助成」や「医療費の助成」など。

